

市民メディア報道写真展 vol. 1

バイバイ原発きょうと 編



2012. 3. 10 京都・円山公園音楽堂

「バイバイ原発きょうと」は、福島原発事故以来、市民に培われてきた脱原発の意思をリリーススピーチやデモでアピールする市民主体の大きな集会で、来たる2017年3月に第6回を迎えます。この集会とデモを市民メディアの立場から撮影し続けてきた報道カメラマン・堀内隆喜の膨大な写真記録より、その歴史を振り返ります。ぜひご高覧ください。

■日時■ 2017年 1月20日（金）～24日（火）
午前10時～午後8時
（ただし22日（日）と24日（火）は午後5時まで）

■会場■ ひと・まち交流館1階 作品展示コーナー【入場無料】
京都市下京区西木屋町通上ノ口上る梅津町83-1（河原町五条下る東側）
TEL：075-354-8711

主催：市民メディアの報道写真を見る会 連絡先：staff.takayoshi@gmail.com（堀内）

市民メディア報道写真展 vol. 1

バイバイ原発きょうと 編

展示会概要とアンケート結果報告

- 開催日時 2017年1月20日(金)～1月24日(火)
午前10時～午後8時(22・24日は午後5時)
- 会場 ひとまち交流館1階展示スペース
- 展示写真数 156枚+テキスト13枚
- 入場者数 255人
20日53人、21日45人、22日67人、23日41人、24日49人
- 芳名署名数 214人
- アンケート回収数 141枚
- カンパ額 69,657円 期日外カンパ 5,000円 合計 74,657円
- チラシ印刷枚数 1350枚(うち200枚は受付用)
- スタッフ延べ人数(朝・昼・夜3区分総数=17に対する人数) 95人(平均5.5人)
- 原発京都損害賠償署名数 86筆
- 「バイバイ原発3.11きょうと」チラシ拡散枚数 1200枚
「バイバイ原発3.11きょうと」ポスター拡散枚数 20枚

アンケート結果

(1) この写真展を何で知りましたか (複数可)

a マスコミ	18 人	10.4%
b ネット	44 人	25.4%
c 口コミ	36 人	20.8%
d 手渡しされたチラシ	43 人	24.9%
e 店などに置いてあったチラシ	2 人	1.2%
f その他	30 人	17.3%

(2) バイバイ原発きょうとに参加されたことはありますか

a ある	113 人	78.5%
b ない	31 人	21.5%

(3) あるとお答えいただいた方にお尋ねします、それは何年の集会・デモですか(複数可)

a2012 年	58 人	16.9%
b2013 年	60 人	17.4%
c2014 年	67 人	19.5%
d2015 年	77 人	22.4%
e2016 年	82 人	23.8%
参考 すべて参加	42 人	12.2%

(4) 今年の集会・デモに参加されますか

a 参加する	74 人	55.6%
b 参加したい	19 人	14.3%
c 参加しない	12 人	9.0%
d 未定	28 人	21.1%

(5) あえてお聞きします。展示写真の中で何年の展示が良かったですか

a2012 年	43 人	37.4%
b2013 年	22 人	19.1%
c2014 年	11 人	9.6%
d2015 年	8 人	7.0%
e2016 年	22 人	19.1%
f とくによかった年は見つからなかった	9 人	7.8%
すべて良い	18 人	15.7%

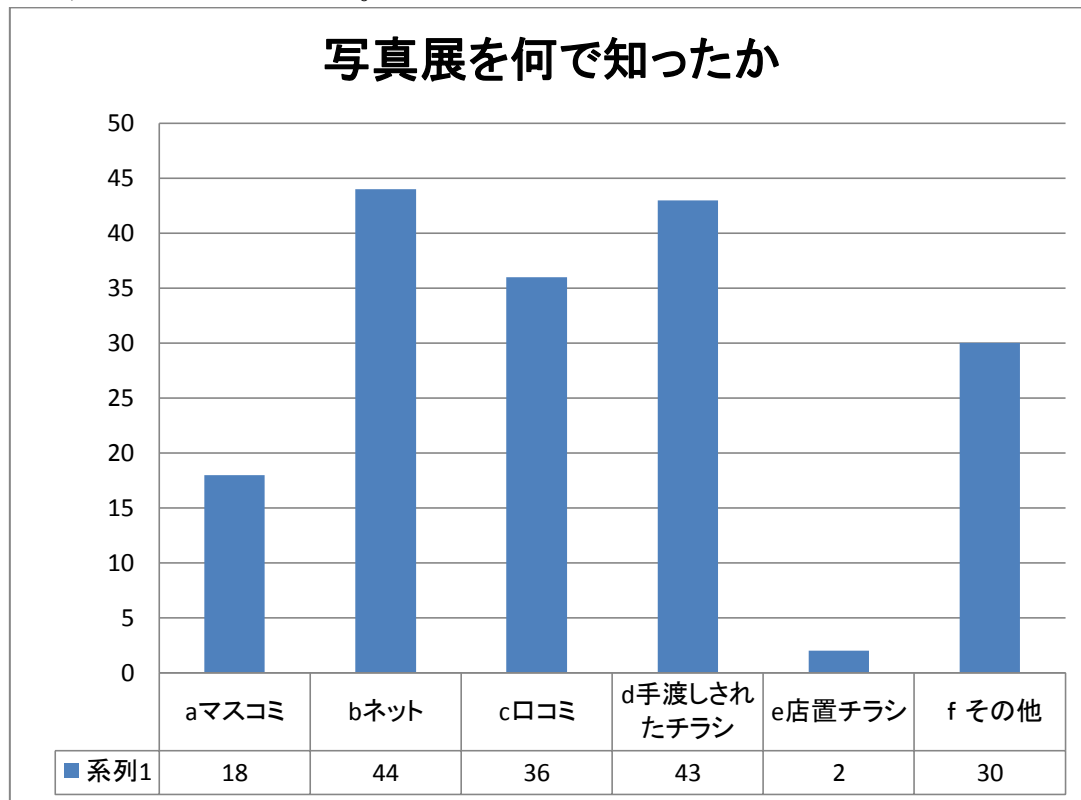
(7) あなたのお歳は

a10 代以下	1 人	0.7%	f50 代	34 人	23.6%
b11~18 才	1 人	0.7%	g60 代	42 人	29.2%
c18~29 才	6 人	4.2%	h70 代	23 人	16.0%
d30 代	16 人	11.1%	i80 才以上	2 人	1.4%
e40 代	16 人	11.1%	不明	3 人	2.1%

アンケート概要

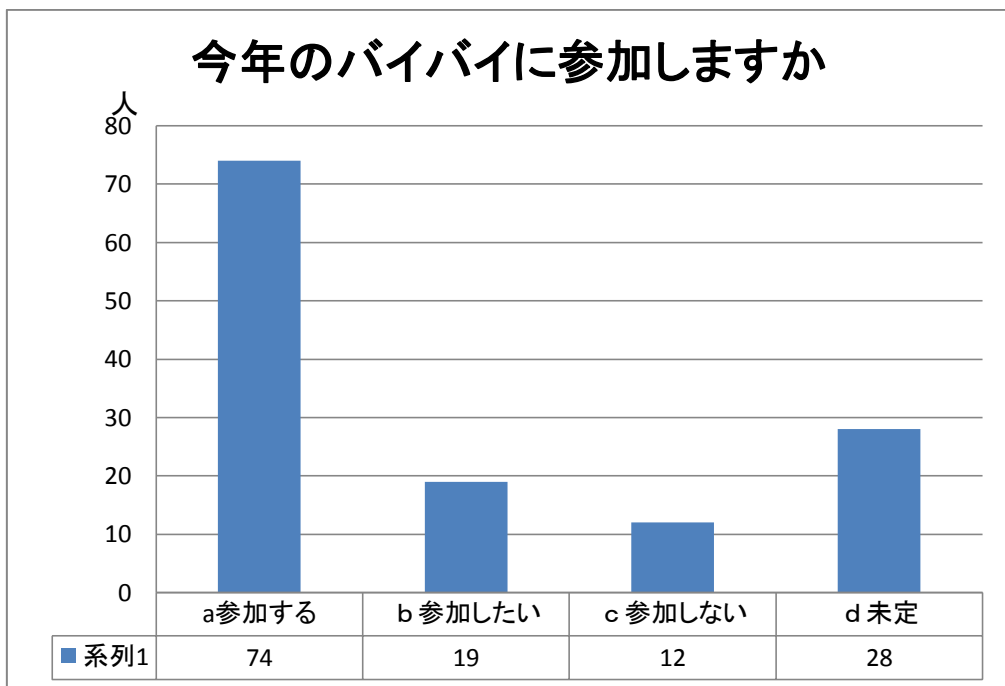
アンケート回収率は5日間合計で141人。来場者255人なので55.29%でした。最終日は回収が59.18%と約6割でした。

写真展を何で知ったかという問いに複数可納とはいえ「手渡しちらし」が24.9%で最も多く、店に置いてあったのは2人、1.2%でした。マスコミで知ったが18人10.4%ありました。

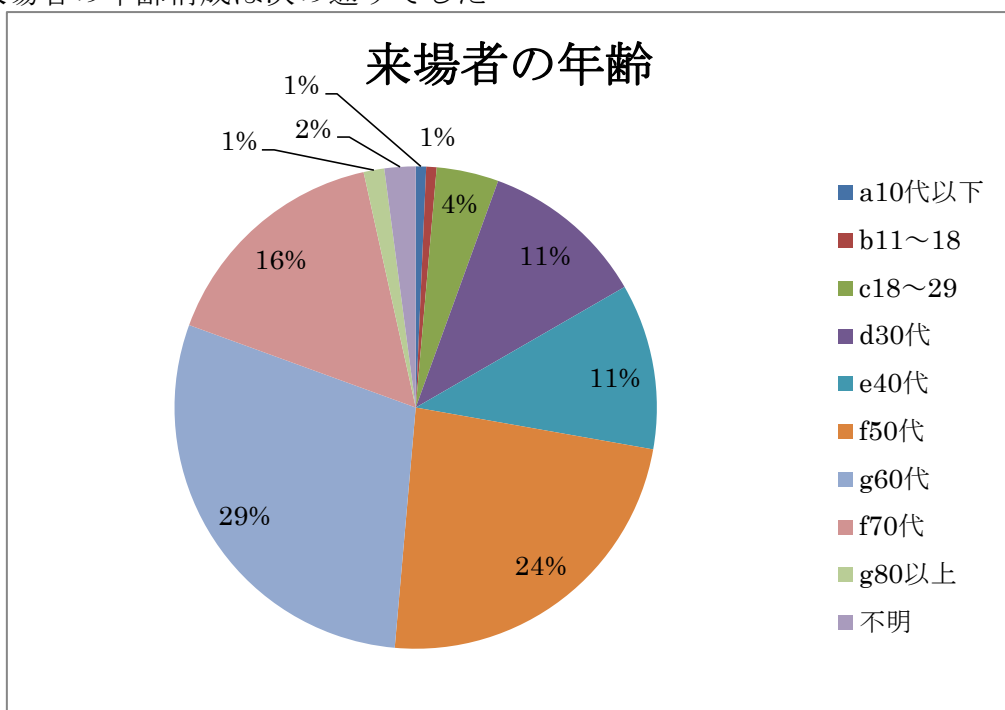


バイバイ原発に参加したことがある人は78.5%でした。参加したことがない人31人は21.5%ありました。この参加したことがない人で写真展を見て今年参加する・したいと答えた人が7人、しないと明言した人5人に比べて若干多くなりました。他は未定と答えています。

また今年のバイバイに参加する・参加したいという人は133人が回答して約7割(93人)に上りました。ただ、5回すべてのバイバイに参加している人が42人いましたから割合が高くなるのは当然かもしれません。

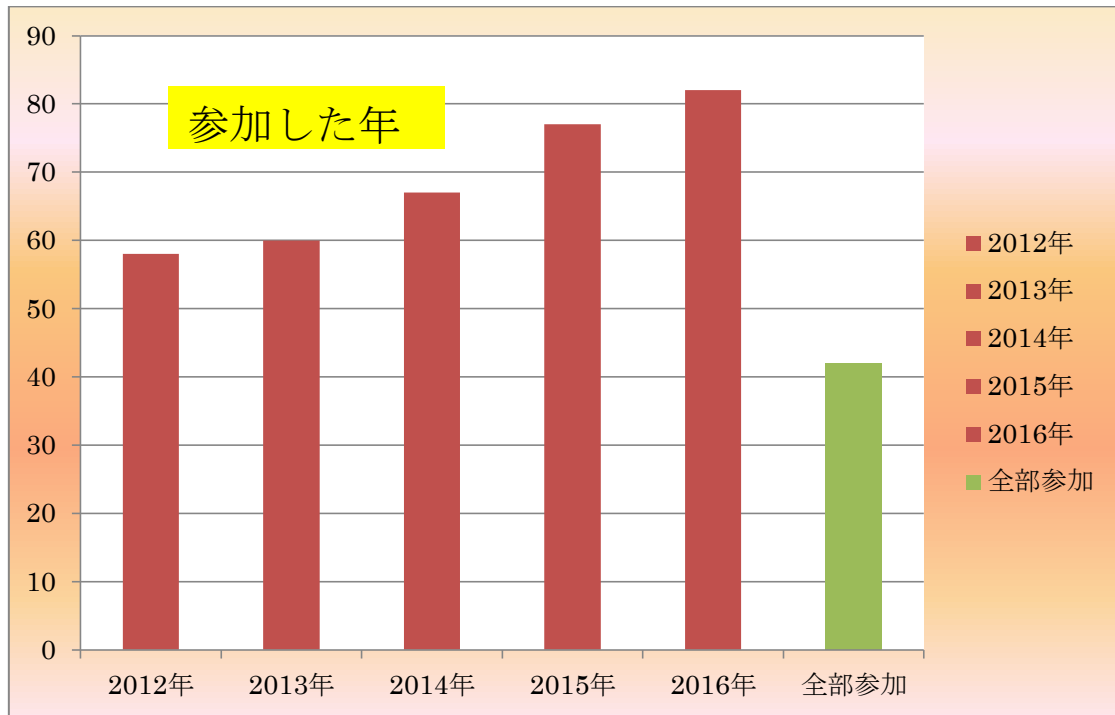


来場者の年齢構成は次の通りでした

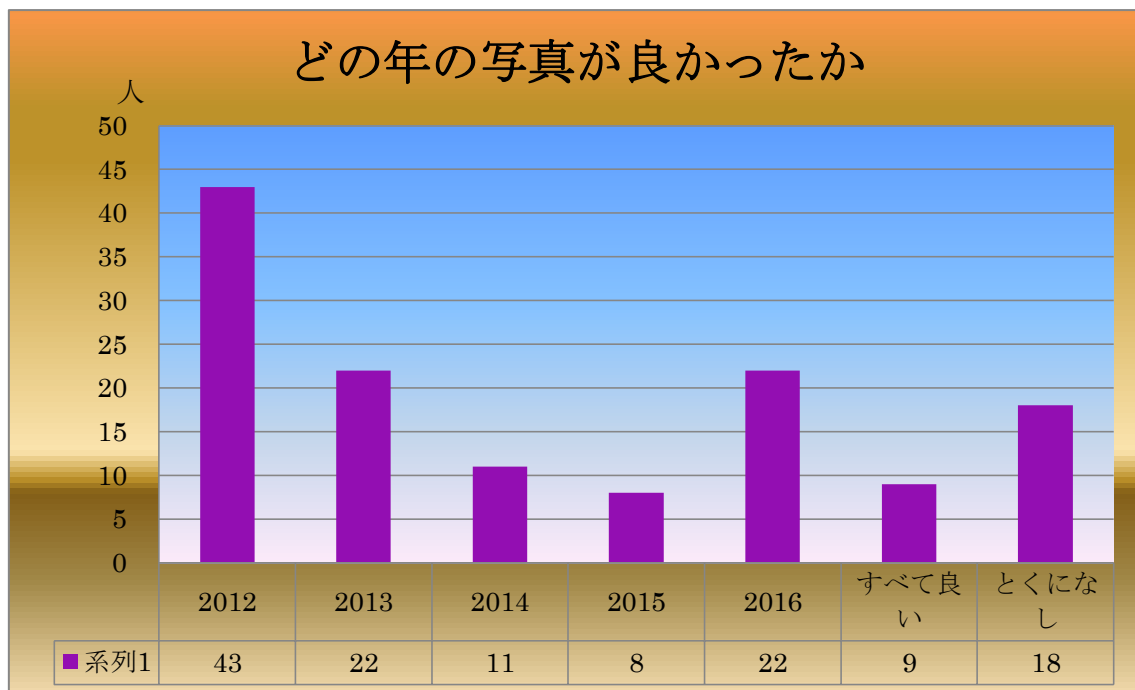


18歳以下が2人、最も多かったのは60代で29.2%、次いで50代が23.6%以下70代も16.0%の来場。30代と40代は同じ比率の11.1%、18~29歳が4.2%、80才以上は2.1%でした。

参加した年は



聞いてもあんまり意味のない質問事項でしたがどの年の展示が良かったですかと質問しました。2012年が圧倒していました。多分個人と組織の写真のかみ合わせがバランス良かったせいかなと自分なりには認識しています。



寄せられた感想
(20 日分)

*続けることが力になると思うので闘い続ける節目となる良いイベントになった。(18~29 才)

*5 年間の様子がわかってよかった。1 年 1 年違いがあることが解った。自分たちの活動を振り返る良い機会になりありがとうございます。(30 代)

*2012 年はまだはじめてのういういしきがあつて、2013 年は個人個人が表現を楽しみだしてる感じがあつてみてて元気になる。(50 代)

*良い写真の数々なので、未だこういった活動に無関心な方々に見ていただきたいですね。もっと大きくしていく必要があります。(40 代)

*こういうことをきっかけに、原発のこと、集会やデモに参加すること、また自分らしく発信すること、そして続けていくということを考えていただけたと思います。よかったです！(50 代)

*素晴らしい写真展だと思います。全体に平板にも感じた。例えばミニテーマごと出展示に工夫するとかキャプションをもっと活用するとか。(60 代)

*ちょっとメリハリをつけたらよかったのでは？(50 代)

*なつかしく、そしてこれからも活動を頑張ろう、続けようと思いました。(30 代)

*表情の一瞬一瞬が見事に切り取られ訴えの表現が凄く伝わった。写真集にしてほしいくらい。(30 代)

*構成がとても見やすく、とても良かったです。(40 代)

*写真がきれい。原発事故から数年は原発に対する不安が多かったのか写真にその様子が描かれてましたね。(40 代)

*エネルギッシュな感じが伝わってきてドキドキしました。一生懸命な中に楽しさも見えて感慨深いです。(30 代)

*一般の人を対象にするなら原発の問題点を訴える説明がもっと必要。デモに行った人が自分たちの写真を見て喜ぶだけではあまり意味がない。(70 代)

*初めてこのような活動があると知りました

頑張っている姿が生き生きと伝わってきます。原発をなくすまで活動しましょう。(60代)
(21日分)

- 美しく引き込まれる写真が多く良かった。
- 素晴らしい写真展を企画してくださり感謝です。1枚1枚、お一人お一人の思いが伝わってきます。
- 生々しい写真すべて良いと思います。このような運動は長く継続せねば効果の出ない物です末永い運動の活発なることを願います。(70代)
- 記録写真を多くの人に見てもらいたいと思いアピールの参考にさせていただきたいと来所しました。(60代)
- 良く記録してくださいました。まず感謝です。地震列島日本に住む私たちは確かに福島震災で目覚めさせられました。我が身に降りかかって初めて知るおろかさをこれ以上絶対に繰り返してはならない！ここに写ることのない人たちにもっと語り、知らせる必要がある。共同の広がり強めて行かねば。撮り続けてください、よろしく願います。健康に気をつけて。(70代)
- 運動の記録がひしひしと伝わった。講演のコメントがあり写真以外で運動の概要が良くわかった。(京都新聞を見て来場 60代)
- 集会・デモには参加していませんが皆さんの声がお写真から今にも聞こえてくるような思いでいっぱいになりました。皆様の活動に感謝しています。そしてお身体に気をつけてこの活動を続けてください。いつか必ず参加を(50代)
- 実際参加していると全体までなかなか見られないのでこうしてたくさん写真で全体の感じなどがわかって面白いです。なつかしいです。早いものでもう6年になるのですね。
- デモに参加されている方々のいろんな表情がみれて良かったです。(集団としてというよりは個人とか小さなグループ、集まりなどで参加しているところのクローズアップ？みたいな感じの写真が良かったです。(18~29才)
- 継続されていること自体が素晴らしいと思います。デモもお写真におさめることも、両方の意味で。生き生きとしていて、躍動感があってよい写真ばかりでした。(40代)
- 本をつくってください。しゃしんをみてたのしかった、とてもすてきなしゃしんで れきしにのこることはひつようと思ってます。ありがとうございます。(30代)

- 初めての参加ですがよかったですと思います。(60代)
- 貴重な記録を残すという地味で大変な仕事ご苦労さまです。(50代)
- 動きのある写真で強いメッセージを感じました。(30代)
- これだけの原発の想いを受け止めない政府・関電に怒り！！今年も頑張りましょう。(40代)
- 準備がとても大変だと思います。こうして振り返ると5年間の軌跡がよくわかりました。将来、写真集にしても良いですね。

23日分

- みなさんプラカードや服装などくふうされていて素晴らしいと思った。
- スミマセン大体予想の範囲内で・・・以前キンカンの参加個人がやってたのは面白かった。
- いろいろ工夫を凝らしてデモを毎年つづけてこられたのに対して敬意を表します。今年は3/11に行きたいです。(無参加の50代)
- こうやって残していただいたことに感謝します。きっと原発をなくす！その時の歴史です。いろんな人の顔が見れて感動しました。ありがとうございます。(60代)
- たくさん写真ありがとうございました。最初の頃の元気を今一度取り戻して今年3・11盛り上がれますように・・・！！一日も早く原発が無くなりますように！(60代)
- 1枚ごとに少しでも何か一言が入っていればもっと身近に見えるかも。(70代)
- すごく良い企画だと思います。原発以外の写真(アベ批判の写真 etc)も同時に展示するのも良いと思います。大学の教室 etc を利用させていただいて巡回で各大学を廻ればもっと知ってもらえるのではと思います。(60代)
- いろいろ参加されている方々が明るく楽しく参加されていてくらい表情でないのがいい！これからも明るく楽しくでもあきらめずに続けていきましょう。忘れずに続けていくことが大切かなと思います。いつも参加されているふつうの人々の姿を撮り続けて下さってありがとうございます。(60代)
- さすがプロのカメラマンの写真だと思いました。人の表情もその場の雰囲気、空気感伝わるものがあります。

24 日分

◎参加者のファッションが問題だ。お祭りの様だ。本当に分かっているのだろうか。(新聞見て、参加なしの 60 代)

◎原発事故発生からの京都の活動の歴史を写真にて振り返ることのできる有意義なものでした。私自身 2012 年から円山公園での集会には参加しており、年々減る参加者を写真によって明確に比較できてしまったのは悲しいものですが、この現実を受け止めないといけません。大切なのはこれからも活動の灯を絶やさず、決して原発事故をなかったことにしてはいけなと改めて感じました。(18~29 才)

◎鮮明で素晴らしい記録ですね。写真の力を感しました。(40 代)

◎参加したことはありませんが高浜原発稼働とかのニュースを聞いたりしていると放射能の問題のことなどを考えるとはたしていいのかどうかなどと思います。電気料金は値下げでいいかは)解りませんが。(参加なしの 50 代)

◎ニュースを見ていると不安ばかりが募ります。写真を見てこんなにたくさんの方が流れに反対しているのだとあらためて勇気が出ます。(60 代)

◎2012 年をとっても懐かしく感じました。しかし、鮮明に覚えており、市民の力はすごい！原発は必ず止められるとパワーと勇気をもらいました。バイバイ原発京都を開催してくださって本当に有難いと思います。また、この写真展は未来への励みとなります。本当にありがとうございました。今年も参加します。原発が無くなるその時まで続けたいと思います。(40 代)

◎的確な撮影と丁寧なプリント。写真か堀内さんをしっかり心に刻むことができました。(70 代)

◎スチール写真の力(一人一人の想い思い)が伝わってきます。(70 代)

◎参加したのはデモだけだったので広場や集会の様子も見れてよかった。懐かしい光景も多かった。毎年続けているデモを年ごとに追った展示は貴重な記録になっていたと思う。いろんな人・団体が参加するデモだったことがわかったので今年のデモも多くの参加でアピールできるとよいと思う。(30 代)

◎デモでは自分のいる辺りの状況しかわかりませんが、今回の写真展でデモに参加されているたくさんの方の表情が見ることができてとてもよかったです。写真からたくさんの方の同じ想いの人たちと出会えたようでまた今年参加することが楽しみにになりました。(30 代)

◎昨年のオバマの広島へ来たこと、単なるパフォーマンスにすぎない。核のポ

タンを押すカバンとともに来ている。また米国は核兵器の小型化に向けて多額の金を使っている。核兵器と原発は根は一緒。企業の為の稼働は止めるべきなのに企業から金をもらう政治家たちは国民の意思を無視して動かすようにしている。絶対にやめるべき。(60代)

◎あと2か月で3・11より丸6年。いつになったら廃炉が決まるんだろう？写真とともにうのさん、鈴木さん、福島さん・・・当事者のお声に心、痛まる思いです。(50代)

◎バイバイ原発きょうと自体も多く組織や個人がネットワークを作っはじめられたと聞いています。今回の写真展もいろんな方々の写真でなされているようでそのネットワークに関心があります。最終日に来られてよかったです。(40代)

◎よく似た写真がたくさん展示されているのかと思っていましたところ、1枚1枚の写真が実に個性的であり、脱原発を願う人々の思いがひしひしと伝わってくる写真展でした。(50代)

◎長い間の記録ありがとうございます。5年ではありますが写真の数々から、その時々状況の変化も垣間見ることができると思いました。今後につなげていきたいですね。(50代)

◎スピーチの文字おこしを読めてよかったです。年々の想いを新たにしました。(50代)

◎写真に写り人の顔、各々輝いている。何としてでも原発は廃止しなければ「原発=原爆」なんです。経団連や原発村、利益をむさぼる輩に好きにさせては地球は終わりです。原発はすぐに廃止させ又、原発を売るような東芝や現政権を追求していかなければ、事故が起きたら国民に払わすようなふざけた案は絶対に許さない。反対してゆきましょう。お花畑国民にも何とか気がついてもらえるように(60代)

◎たくさんの中から選ぶのが大変だったでしょう。残念ながら自分の姿はみつからなかったです。お大師さんの「脱原発成就」の御札は販売しているんですか？キンカンで販売してくれると嬉しいです。(70代)

情報ワイド

得る

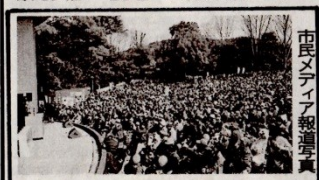
フェイバリット・アート・ビュロー(絵画・版画・彫刻など) 開催中、28日正午〜午後7時、京都府立総合資料館2階展示室、京都市東山区三条岡崎広道の市東山区三条岡崎広道のギャラリーモーション(075-771-1211)にて開催中。22・28日は午後5時まで、23日休み。

古い道具と昔のくらし 開催中、20日前9時〜午後5時、野洲市辻町の銅鑼博物館(077-587-4410)。昔の道具や古い写真など約50点。一般200円、高校・大生100円、23日休み。

古い道具と昔のくらし

学生150円、小・中学生100円、23日休み。森琴子さんの学院「創作帯結びパネル展」開催中、30日前9時〜午後7時、京都市山科区柳辻西浦町の市東郷文化会館(075-771-1211)にて開催中。30日は午後3時まで、24日休み。森さん携帯電話090-4760-5030。

三浦一孝 茶乃湯 釜 展 開催中、31日前10時半〜午後6時、京都市中区丸丸通一乗上ルのギャラリー俊吾(075-250-6789)。23・24日休み。平安女学院大附属幼稚園作品展、18〜31日前10時〜午後5時、京都市中区



市民メディア報道写真

展「バイバイ原発きょうと編」

20〜24日前10時〜午後8時、京都市下京区河原町通五条下ルのとことまろ交流館京都。堀内隆喜さんによる約130点の作品。堀内さん携帯電話090-1954-2415。22・24日は午後5時まで。写真作品の一部。

野洲 市民メディア報道写真展 下京

帯電話090-9863-9450。コルテン・エイジ・アカミー「井伊直虎の生涯」20日前10時、京都市中京区丸太町通七本松西入ルの京都アスニー(075-812-7222)。講師は講師の旭堂南庵さん。前11時半から栗辻泰由さんによる歌唱指導。市内在住・通勤・通学者対象。無料。定員600人。要申込。仏教探究講座、20日前10時半、京都市下京区四隣・佛教大四条センター(075-231-8004)。中野講師の一茶会(根づかせる)24日午後6時半、京都市左京区聖護院川原町の京都教育文化センターホール。講師は中野透さん。無料。先着200人。要申し込み。総合地球環境学研究所(075-707-1288)。絵とともに読む源氏物語「若菜と未摘花」若菜語、26日後2時、京都市中京区丸太町通七本松西入ルの京都アスニー(075-812-7222)。清水婦久子・帝塚山大教授による北の読みかみ見聞の解説など、8時〜20時、25日までに要申し込み。

野洲 市民メディア報道写真展 下京

出川通局丸東入ルの同志社大弘風館。講師は林真奈・府立大准教授。500円、学生無料。日中友好協会府連合会(075-256-2764)。京の文化絵巻「ザ・シンガワム」美しい暮らし、文化の底流―子どもたちに伝えたい京都―。22日前1時半、京都市中京区寺町通船業師下ルの京都芸術センター講堂(075-213-1000)。元文化庁長官の近藤誠一さんの講演など。無料。先着30人。要申し込み。府環境部エネルギー政策課(075-414-4297)。世界遺産で語る札幌案「シンガワム」札幌の地と

環境セミナー「再生可能エネルギーの利用拡大に向けて」F-T制度に向けて、26日後2時、京都市下京区東洞院通堀小路のメルバルク京都(075-414-4297)。静岡産業大講師の「給水予熱のお話!」と高浦敬之さんの「京都駅ビルにおける再生可能エネルギーの活用事例」の講演。同区の京都駅ビル「緑水歩廊」の見学も。無料。先着30人。要申し込み。府環境部エネルギー政策課(075-414-4297)。世界遺産で語る札幌案「シンガワム」札幌の地と

会場入り口看板



会場展示の様子

